

# 盲導犬について知る

## 豊橋の障害者福祉 会館「さくらピア」親子で防災教室 対策など学ぶ

豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」で16日、

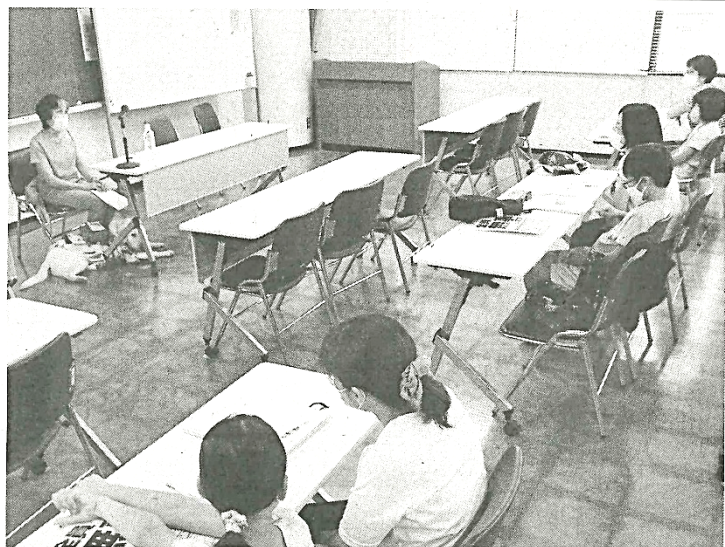
「2022さくらピア親子防災教室」が開かれた。小学2～6年の子どもと保護者ら8家族17人が参加し、防災と障害についての知識を深めた。

毎年、夏休みの時期に合わせて開く。防災頭巾作りやポッチャ体験、車いすや発達障害、防災手話の学習など、毎年テーマを決めて取り組む。

今年前半は防災対策、後半は視覚障害について学んだ。市防災危機管理課の中村光伸さんが「親子で学ぶ防災対策」と題して講義。災害発生時の避難所の様子を説明したほか、家族で家具の

転倒防止対策をしておくことや在宅避難の備えなどについて説いた。

後半は、盲導犬ユーザーでブラインドテニス「鈴RUN」代表の中西真由美さんが「盲導犬のことを知ろう」と題して



盲導犬について話を  
する  
中西さん＝さくらピアで

話した。視覚障害や自身が行動を共にする盲導犬ニコラ、ブラインドテニスなどについて紹介。盲導犬の生活や、外出時には抜け毛防止に服を着せること、飲食店などで入店拒否されそうになったこと、仕事中の盲導犬にしてはいけないことなどを説明、「横断歩道や電車のホームなどは盲導犬と一緒に怖い。声をかけて誘導していただけるとありがたい」などと呼びかけた。子どもたちは話を聞きながら、足元で大人しくしているニコラを興味深そうに見ていた。

参加した牛川小6年の高木紗愛さんと星川悠理さんは「実際に話を聞き、盲導犬を見て、より理解できた。困った人がいたら声をかけたい。来年もぜひ参加したい」と話していた。

【田中博子】